みずほCustomer Desk Report 2023/09/22 号(As of 2023/09/21)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.46 AUD/USD
TKY 9:00AM	148.32	1.0650	157.99	1.2328	0.6436
SYD-NY High	148.46	1.0673	158.05	1.2346	0.6452
SYD-NY Low	147.32	1.0617	157.05	1.2231	0.6386
NY 5:00 PM	147.59	1.0663	157.35	1.2295	0.6417

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,070.42	▲ 370.46	日本2年債	0.0300%	0.0100%
NASDAQ	13,223.99	▲ 245.14	日本10年債	0.7400%	0.0200%
S&P	4,330.00	▲ 72.20	米国2年債	5.1417%	▲0.0288%
日経平均	32,571.03	▲ 452.75	米国5年債	4.6183%	0.0476%
TOPIX	2,383.41	▲ 22.59	米国10年債	4.4931%	0.0952%
ｼｶｺﾞ日経先物	32,080.00	▲ 755.00	独10年債	2.7455%	0.0430%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,678.62	▲ 53.03	英10年債	4.3025%	0.0895%
DAX	15,571.86	▲ 209.73	豪10年債	4.3090%	0.0780%
ﾊﾝｾﾝ指数	17,655.41	▲ 230.19	USDJPY 1M Vol	9.13%	0.40%
上海総合	3,084.70	▲ 23.87	USDJPY 3M Vol	9.81%	0.36%
NY金	1,939.60	▲ 27.50	USDJPY 6M Vol	9.66%	0.26%
WTI	89.63	▲ 0.03	USDJPY 1M 25RR	▲0.94%	Yen Call Over
CRB指数	285.93	▲ 2.55	EURJPY 3M Vol	9.59%	0.29%
ドルインデックス	105.36	0.24	EURJPY 6M Vol	9.76%	0.22%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は148.32ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾊﾟｳｴﾙ議長の発言等を受けたﾄﾞﾙ買いの流れから、前日の高値を抜け一時148.46まで上値を伸ばす。その後は官房長官の円安牽制発言などもある中で、介入への警戒感からか上値の重さが意識されたものの、終始底堅い推移を続け、148.33ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、148.33ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。昨日の米FOMCを受けて欧州株が全面安となる中で円高推移となり147.98ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。朝方、ｽｳｪｰﾃﾞﾝ･ﾉﾙｳｪｰ両中銀は予想通り0.25%の利上げを決定した一方でｽｲｽ中銀が予想外に据置決定とするとﾌﾗﾝが売られた。正午に英中銀が予想外の金利据置となるとﾎﾟﾝﾄﾞは1.23台から一気に1.2231まで下落。同決定が5対4の僅差であったと報じられると買い戻され1.2267ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。なおﾄﾙｺ中銀は予想通り政策金利を5%利上げで30%としたが、織込済みであったこともあってかﾘﾗは売られた。

ニューヨーク

東京市場のﾄﾞﾙ円は148円台半ばでｽﾀｰﾄ。米金利が高水準で推移する展開に支援され、年初来高値の148.46まで上昇し、その後も148.30付近を挟んだ高値圏での値動きが続く。しかし、その後米金利低下が重しとなり、147.70まで値を下げる。その後小幅反発し、147.98ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より良好な内容を受け、買いで反応し、148.06まで戻す。しかし、買いは長続きせず、その後米短期金利が低下する展開に連れ安となり、147.32まで反落する。午後は147.50付近で上値重い値動きが続き、147.59ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、東京市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.06台半ばでｽﾀｰﾄ。ﾄﾞﾙ買い地合いの中、1.0617まで値を下げるも、その後下げ渋る。続いて米短期金利低下や、ﾏｸﾙｰﾌ･ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ中銀総裁が「さらなる利上げはあり得る」との認識を示した事から、ﾕｰﾛが買い戻され1.0664まで反発する。その後小幅反落し、1.0636ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は堅調な米失業関連の経済指標の結果を背景に1.0625まで続落する。しかし、その後米短期金利が下げ幅を拡大する展開を横目に、1.0673まで反発する。午後は高値圏の1.0670付近で揉み合いとなり、1.0663ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・松木

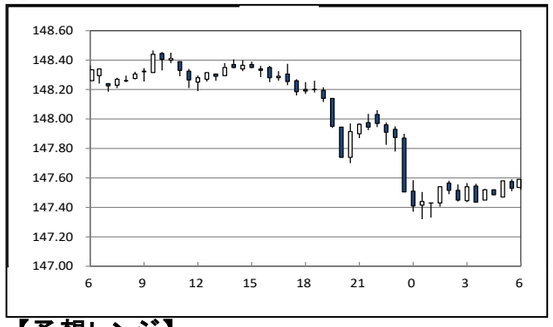
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
9月21日	20:00	英	イングランド銀行 政策金利	21-Sep	5.25%	5.50%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	16-Sep	201k	225k
	21:30	米	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ連銀景況	9月	-13.5	-1.0
	23:00	米	中古住宅販売件数	8月	4.04m	4.10m
	23:00	欧	消費者信頼感・速報	9月	-17.8	-16.5

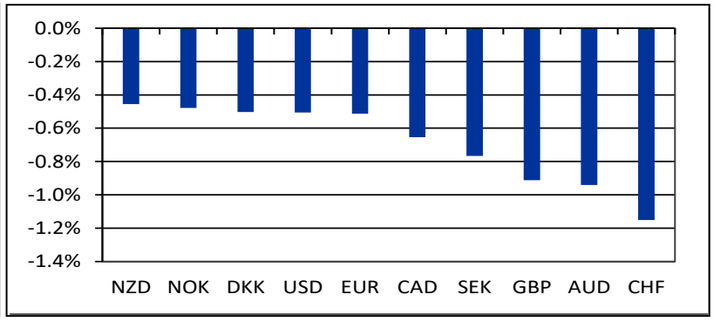
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
9月22日	-	日	日銀金融政策決定会合	-	-	-
	08:30	日	全国/全国コア/全国コアコアCPI	8月	3.0%/3.0%/4.3%	3.3%/3.1%/4.3%
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	8月	0.7%/-1.3%	-1.4%/-3.4%
	16:30	独	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	39.5/47.1/44.7	39.1/47.3/44.6
	17:00	欧	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	44.0/47.6/46.5	43.5/47.9/46.7
	17:30	英	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	43.2/49.4/48.7	43.0/49.5/48.6
	22:45	米	製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	9月	48.2/50.7/50.4	47.9/50.5/50.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.00-148.00	1.06000-1.0700	156.00-158.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は148円台前半から一時147円台前半まで下落した。欧州時間序盤は148円台前半にて上値重い推移が継続した後、英中銀金融政策決定会合にて予想外に政策金利が据え置きとなると、ポンド/円の下落にドル/円も連れ安となり一時147円台後半まで下落した。また、NY時間に発表された米・8月中古住宅販売が予想比減少となると、ドル/円は147円台前半まで下値を拡大した。
本日もドル/円は上値重く推移すると予想。本日予定されている日銀政策決定会合では金融政策の現状維持が予想されているが、先日の植田日銀総裁のインタビューにあったマイナス金利解除発言を受けて、金融政策の修正にかかる方向性に注目が集まっている。金融政策の早期修正に関するヒントが得られれば円高が進行する場面も見られるのでないか。また、本日は欧米にて9月各種PMI速報値の発表が予定されている。